

大乘持経寺報

令和8年6月号
第42号

住職指導

「水無月」の時節を迎えました。今月は梅雨の時節を迎えます。外には出づらくなります。でも毎日のように、バスや車、自転車などで、6時半からの朝勤行に5名前後の方が御参詣になられています。雨が降っても、カッパを着ての参詣です。すごい御信心です。私は皆様を迎える立場ですが、窓の外の雨を見ては、皆さんの毎日の御参詣には頭が下がる思いです。勤行では、皆様の安全を毎日ご祈念しています。講中の皆様には、御時間のある方は、是非、一人でも多く朝夕の勤行に御参詣いただきたく思います。共に自身のご祈念と、折伏成就のご祈念を致しましょう。

持経寺創立60周年記念法要は、12月20日です。その日までに「一人が一人の折伏を」です。講中の皆様には、よろしく願いいたします。そして、自身が折伏した方と共に、記念法要に御参詣いただきたく思います。どんなに素晴らしい、今生の良き思い出となることでしょう。天候は不順の毎日だと思いますが、皆様の精一杯の唱題と折伏実践を宜しくお願い致します。4月の総登山で皆様に申し上げましたが、1日、10分増やしての唱題を実践して、ご祈念いたしましょう。以上

『役員挨拶』 登山部長 網中 美雪

毎日のお天気に移り変わる日々、講師の皆様にはお元気にお過ごしでしょうか？

年頭より御住職様から「今年は数を」との御指導を受け、励んでおりましたが、なかなか折伏成就という結果には至っておりません。自身の信心の甘さを痛感していたおり、熱を出し寝込んでしまいました。とにかく折伏のための活動につながることを！と、意識して予定を組んでいたのですが、さすがに身体が悲鳴を上げたようです。そこで寝込みながら考えたのですが、優先順位が間違っていたかなあ、と。私たちには24時間という時間しかありません。その24時間、どれだけ信心のために、御本尊様のために使えるかを考えることが、優先順位の第一だと思うのです。

毎月の御講への参詣、支部御登山は一回でも多く参詣いたしましょう。講習会登山はまだ6月もあるので、まだ参加されていない方は是非御登山されてください！

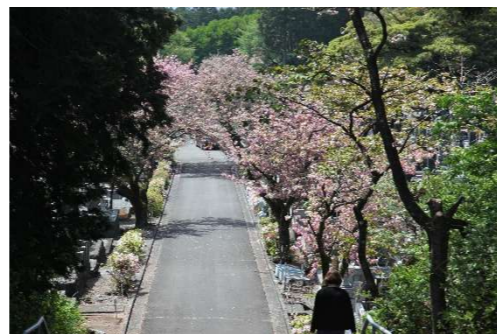
『折伏成就して』 婦人部 猪又 由利

私は平成6年10月に創価学会を脱会して、持経寺の法華講員になりました。

寺院参詣をするようになってすぐに、河村弘子さんをお餅つき大会に誘いました。美味しいお餅を頂いて楽しい時間を過ごした事で、毎月の御講や行事に、2人で楽しくお寺に通いました。

私は河村さんと一緒に添書登山をしたいとずっと祈っていました。1年半通い続けた御講の日に、御住職様が「御開扉を受けるために御授戒を受けましょう」と河村さんの背中を押して下さると、河村さんも、一言返事で「はい」と言われたんです。私の方がびっくりしてしまいました。

晴れて4月28日に御授戒を受け、一緒に法華講習会と、添書登山に参加できることになりました。本当に嬉しい限りです。ありがとうございました。



『法華講習会に参加して』 壮年部 都 克裕

2～3年程前から、私の嫁の家族に色々問題が起こっています。高齢の義母が骨折し入院し、それを機に軽度の認知が認められ、施設に入所することになりました。その母をずっと世話して来た一つ年上の義兄が、ステージ4の胃癌に侵されていた事が分かり入院。それで嫁が二人の世話する為に沖縄に戻り、2年が経とうとしています。諦めずに最期まで闘病した義兄は、半年程前に亡くなりました。

それまでにこの仏法の話をしたり、折伏はしていましたが、間に合わなかった、悔しかったです。こんな思いはしたくないので、唱題を根本にやり直したいと思いました。

『第6期法華講習会に参加して』 婦人部 加藤 康子

5月23日土曜日の午前中の第6期で参加させていただきました。気温もとても涼しく、早朝という事もあり参加の人数が少なく、いつものお登山よりもゆったりと、清々しい気持ちで参加させていただきました。講習の中では、大聖人様の教えの全てが唯授一人の血脈相承にて大石寺に伝えられている事をさらに詳細に学ぶ事が出来た事や、御法主日如上人猊下様の「強い確信をもって折伏を行ずる時は、必ず相手の心を動かすのであります」という御指南を受け、一人が一人の折伏を実践し、一人から二人、三人、百人と伝えていく事の大切さを改めて学ばせていただきました。頭の中にはあった言葉ですが、また詳細に講習会で学んだ事で改めて発見できた事も多く、とても意義ある講習会を受けられた事に感謝でいっぱいです。

『法華講習会に参加して』 婦人部 川嶋 めぐみ

5月24日に開催された法華講習会に参加させていただきました。講習会では、一時間目に「なぜ日蓮正宗が正しいのか」、二時間目に「勇気を持って今こそ折伏しよう」の講義を拝聴させていただきましたが、両講義を拝聴した時間は、とても実りある時間となりました。今後も、朝夕の勤行を基本に唱題を実践し、まずは折伏の一步となる下種に励んで参ります。

『法華講習会に参加して』 婦人部 吉野 順子

9期に参加しました。「なぜ日蓮正宗が正しいのか」「勇気を持って今こそ折伏をしよう」を学びました。私事ですが、胸椎圧迫骨折をしたので、講習会に参加できるかわからないと思っていましたが、大御本尊様のもとへ集うと決めたら、色々パズルが合うように状況が変わり、無事に御登山して変毒為薬させていただきました。常に自分の身口意を日蓮大聖人様の仏法に照らし合わせていく事が、自分や大切な人達の幸福な境涯に繋がっていくと確信しました。一言一句でも縁ある人達に伝えていきます。

『法華講習会に参加して』 婦人部 鎌田 早苗

薄曇りの爽やかな新緑の風を浴びながら、夏期講習会に参加させて頂きました。

「なぜ日蓮正宗が正しいのか」今回のテーマであるこの言葉は、折伏する際によく聞かれます。ご僧侶のとてもわかりやすい講義を聞き、もっと確信を持って話せるようにならなければいけないと思いました。また「下種とは、人々の命に成仏の種をまくこと」という言葉が心に響き、その大事さを感じました。まずは大切な人に伝えて参ります。

